

來ないのである。勿論、理窟から云へば北米の云ふこと、正當であらうが、具體的に實際問題を定める時には、唯だ理窟のみで解決がつき苦いのである。北米が新進の青年國で、土地も廣いし、富盛んである上に、西半球獨り舞臺として位置に居るから、理窟さへ善くすれば、敢て抽象論も出來やうが、英國の如に世界到る處に殖民地を有しそう佛國の如に強國と境を接する國に在つては、如何しても此の際自らの立場を實際的に、安全にするの要があるであらう。

我國は平和會議に 何を提言する乎

が衝突りさうである、北米は初
ら正義人道を標榜して起つた丈
何處までも民族自決主義を土臺
て、世界的の平和を主張するだら
英、佛、白は五年に渡る大戦で
なる犠牲を拂つて、其れぞ國力
弊も大であるから、何とか之を
會議の際に埋合をつけ様と力め
あらうが、果して是が何方の勝
敗するかは今の處何人にも断言
きないのである。

尤もフィンランド人とか、ボーランド人とか、チエック、スロヴァツク人等の様に、既に一廉の文明を有し、何時獨立させても自己の力で立派に政治を行つてゆける民族には、經である。

ある、而して是れ實にウイルソン統領や、ロイド、ジョン・チャーチルを拉ぐ云ふだけではなく、卅八年の平和の爲めに當然爲さねばならぬ。

NOTICIAS DO BRAZ
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado No. 89
Caixa Postal H
Tele. Central, 2778
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assinaturas
por Anno 10\$00
„ Semestre 5\$00
„ Mez 1\$00
„ Semana 50¢

講和の根底の其又根底

たる者、其の平生第一の苦手とする日本軍の西北利亚に上陸して我が囊中の物を奪はんことを恐る、會と西部戦場に於ても亦連りに敗戦する。獨逸人の心機は一轉せざらんとするを得ず、心理上必らず然ざる可らず。即ちバタ／＼と一轉して忽ち見るより明かである。然るに此如き火を見るよりも明かなる事實が眼前に開展せるに拘らず『日本人』

本に向ひ何處に岀兵せよと申さるゝを聽く。また戰争なるのだと、今となつては日本人は世界の人の道の爲に戦ふものなりやとの質問に對しては「日本人たる諸君子」には左の如く述べべきものあらずや。
日本は陸上に於ては七年間紛糾するに對し、其の南極より無き支那に對し、は動もすれば輒ち自治獨立せんとする印度を控へ、一朝印度に事態れば日英同盟條約の解釋上、日本

したるなり。豈に太平洋のみなら開の地に於て開拓せんとする者等、人や。日本の艦隊は濠太利、新西蘭の義勇軍及び印度兵をば印度洋に護衛し、以て印度洋上に於ける獨逸假裝巡洋艦の跳梁に備へ、紅海の入口即ち事實上歐羅巴の入口にまで送り届けたるに非らずや。豈に印度洋のみならんや、日本の艦隊には紅海よりして蘇聯河を越えるが爲めか、近來人類生活上に大西洋系たる地中海にまで益々不安の念を醸し、識者亦た之を憂つて歲月の間健闘せるに非ずや。憂ふること切なりと雖も、此の問題題日本人の性格は餘韻に在り、興味は單に人口増加に起因するものに非

1000

伯
家
西
雨
時
報

NOTICIAS DO BRAZ

Publicado semanalmente
 Rua Conselheiro Furtado
 No. 89
 Caixa Postal H
 Tele. Central, 2778
 S. Paulo, Brazil
 Proprietário e editor
 Seisaku Kuroishi
 Assignaturas
 por Anno _____ 10\$000
 „ Semestre _____ 5\$500
 „ Mez _____ 1\$000
 „ Semana _____ \$800

米國に上陸したるに、米人は是ゞ領地の白庫にて、び領を、
々日本人に向ひ、何れも日本は世界の人の爲めに戦ふものなる
と云つた。余(件)の校長は、然るに、
と答へた。すると米人には然らず、
今回の大戦争中に日本は如何なる努力を成したりやと問ふた。予は
青島及び南洋三群島より獨逸人、
驅逐せる二事しか知らざるを以て
是を以て答ふるや、米人にはソ
丈けか、世界の人の道の爲めに盡
には何故モソト早く日本には出
せぬかと反問した、余は困つた
然れば出兵せんとするも船腹が年
い故致し方なしど、漸くお茶を呑
した云々。

る諸君子には獨逸乞和の事を
西部戦場に於ける英佛米聯合軍の功蹟のみに是れ録し、國民は此の如き思想を持し相率以て和時代に入らんとする所である。予には實に悚然として毛骨悚然の感を催すのである。

二、教育界代表者の出兵觀

昨年、全國三萬の小學校長中俊秀なる者十五人を擇抜して米視察せしめた、其の一人十五にて更に俊秀の評判ありし者なが歸朝後、予の縣下の各地に講演せしものは左の如くである。

本に向ひ何處に岀兵せよと申さるゝを聽く。また戰争なるのだと、今となつては日本人は世界の人の道の爲に戦ふものなりやとの質問に對しては「日本人たる諸君子」には左の如く述べべきものあらずや。
日本は陸上に於ては七年間紛糾するに對し、其の南極より無き支那に對し、は動もすれば輒ち自治獨立せんとする印度を控へ、一朝印度に事態れば日英同盟條約の解釋上、日本

したるなり。豈に太平洋のみなら開の地に於て開拓せんとする者等、人や。日本の艦隊は濠太利、新西蘭の義勇軍及び印度兵をば印度洋に護衛し、以て印度洋上に於ける獨逸假裝巡洋艦の跳梁に備へ、紅海の入口即ち事實上歐羅巴の入口にまで送り届けたるに非らずや。豈に印度洋のみならんや、日本の艦隊には紅海よりして蘇聯河を越えるが爲めか、近來人類生活上に大西洋系たる地中海にまで益々不安の念を醸し、識者亦た之を憂つて歲月の間健闘せるに非ずや。憂ふること切なりと雖も、此の問題題日本人の性格は餘韻に在り、興味は單に人口増加に起因するものに非

世ははるてすを兵無濁間ききだりとばべり。日本には世界にける陸地の三分の一を保障したるなり。元來日本人の性格は粗に在り、奥床しさを尙び、權力を露骨に主張するを多しこせず。而も猶ほ且つ日本人には世界に主張するも誰れ憚らじ。豈に陸上ののみならんや、太平洋の十字路にては日本軍艦備前に獨逸砲艦ガイヤー號を武装解除しめ、又太平洋の彼岸にては獨逸砲艦ガブチヒ、ニウーレンアヒ……一時間二十八浬速力の最式貿易破壊艦……が夫の防禦無加奈陀〔英領〕の太平洋岸五百五浬を荒さんじて期せしものをば。本軍艦吾妻出雲には之を防禦し、さては日本艦隊には南半球のフジー群島〔英領〕近海に游弋し、濠太利〔新西蘭〕・加奈陀等……をて其の歐羅巴に於ける獨逸交渉に當り、太平洋の南北に於けるも顧の愁を旨無ならしめ、又太平洋に於ける各國交巡上の安全を保

は出兵せざる可らず、又西北利害の當初よりして露西亞の爲め、には其の極東に於ける大領土の力輕減に有ゆる便宜と保障を以て、かくて以て露西亞をして極東地方に内顧の患なく歐羅巴の東北に戦場に克く獨逸と對抗せしめ、には兵器及び軍需品を露西亞に供給し兎にも角にも露西亞をして、部戦場に戦闘力を持續せしめ、國大軍隊の上陸まで、英佛等聯軍をして、歐羅巴の西部戦場に對獨逸交戦に支障へ得せし

したるなり。豈に太平洋のみなら開の地に於て開拓せんとする者等、人や。日本の艦隊は濠太利、新西蘭の義勇軍及び印度兵をば印度洋に護衛し、以て印度洋上に於ける獨逸假裝巡洋艦の跳梁に備へ、紅海の入口即ち事實上歐羅巴の入口にまで送り届けたるに非らずや。豈に印度洋のみならんや、日本の艦隊には紅海よりして蘇聯河を越えるが爲めか、近來人類生活上に大西洋系たる地中海にまで益々不安の念を醸し、識者亦た之を憂つて歲月の間健闘せるに非ずや。憂ふること切なりと雖も、此の問題題日本人の性格は餘韻に在り、興味は單に人口増加に起因するものに非

沖繩縣人諸君

の注意を促し以て

利子や元金の返済を此伯國でする様になつて居るので、沖繩移民の方はそうでない、會社は一旦沖繩の或る銀行に資金を融通し、移民は其銀行から借りて來るので、元利の返済は期日迄に沖繩に到達する様に伯國から送金しなければ、一日幾何の日歩がつく、それが忍しさに早く送金しようとこして八の口車に乗せられて集り出す、然しこれは一を知つて二を知らないと云ふものである、諸君が利子をおくれたから云つて差押を喰ふ心配はないが、逃亡でもしようものなら保證人はどんなに迷惑するか、それが度重なれば保證人に立つ人が居なくなる、沖繩からは移民が來られなくなる、そこを考へなくてはならぬ。

衛生欄	
高岡醫師	●問 只今妊娠八ヶ月の女、二ヶ月前により左足の股に青筋が張り前表にく惡るといふので只今は米の汁ばかり飲んで居り候如何に對する病薬御教への程偏に願申する譯かと非常に心配致居り候良き候(バライン耕三宅)
方法及良薬有りましたら御教示下さ	○答 小兒に藥ばかり無暗どやるべく云ふて食ふばかり牛乳は下痢甚り青筋は未だ表に現れ居り候如何に對する病薬御教への程偏に願申する譯かと非常に心配致居り候良き候(バライン耕三宅)
れ度願上候(ドライード線伺ひ生)	○答 これは誰れでもそうとは限りませんが良くある現象で胎兒の大きくなり次第足に行く血管を壓迫され度頗上候(ドライード線伺ひ生)
○答 これは誰れでもそうとは限りませんが良くある現象で胎兒の大きくなり次第足に行く血管を壓迫されるために血の循りが悪しくなつて出	は宜敷く無い、特にこんなに永びて居る爲めに血の循りが悪しくなつて出
来るでので病氣と云ふ程のものではあるが、普通ではその事もありませんが、普通では	はあまりに薄く無き米汁を與へ、また胃腸の障害は治療大いに骨の折り
●問 私事三ヶ月前より大便中に長	便の(黄色で然かも形をなしてゐる)のが常態様子を觀察しつゝ食物の加減し行く、あまりに恐れて薄い
此頃時々腹いたみ申喉右の虫驅除法	のばかりでは其爲めに營養不良となる事もありますが、普通ではその何日迄も恢復せぬ事あり、實際
さ五厘程の白き虫何十疋となく下り	成績は保護者其人の努力如何によること多し、脹れは自然に治癒するものと考へらる。
●問 私事三ヶ月前より大便中に長	私が今茲に紹介しやうとする八田
隱れ人八田一藤氏	ウニオン耕地 爲

月不明、十五ミルセルケーロセザル、送金者マツダスチ、十一月、二二六
ノミル、イガラス、十月、一、三、ボルト、ジョオンアル、フレッド、ミランダ、七、四、十二月末
伯刺西爾時報社
當時此耕地は現耕主キット氏と外二
人の合同經營であつたが、共同者の
不和は財政の紊乱となり、支拂の億
達れた八田氏があつた。
當時此耕地は現耕主キット氏と外二
人の合同經營であつたが、共同者の
不和は財政の紊乱となり、支拂の億
達れた八田氏があつた。
當時此耕地は現耕主キット氏と外二
人の合同經營であつたが、共同者の
不和は財政の紊乱となり、支拂の億
達れた八田氏があつた。

五
り三々伍々耕地を出て行つた、所
が自己的責任を考へて踏み留めた男
こそ八田一藤氏其人で、八田氏の説
に賛同して共に残つたのは何れも福
岡縣人で其名を末吉竹次郎、田中作
太郎、吉兼藤市、棚町要吉と云ふ
人達であつた。

此五家族は同耕地に在る事満七年、
其間八田氏は白井氏の出耕後充分な
らざる備詔を以て居残つた移民と更
に新しく入耕した竹村第四回第五回
の移民通譯として内外人の間に立ち
未だ日本移民の真價を了解せぬ耕主
側と、伯國の有利なる耕地の状態を
會得せぬ移民側との意思の疎通を計
るための苦心努力は並大抵ではなか
つた。(續く)

「イグアペ」桔
●當植民地は醫師、獸
手、園藝得業士等常
上必要な組織を有
●當植民地は道路四通
●當植民地に於ては奴
まで日雇又は請負
を得
●當植民地には資力玉
農業爲し得る方法を
「イグアペ」植民地視察
植民地本部「レヂスト」
●汽車の「サントス」發は毎週
十分) 土曜日(此日だけ午前
着は午後四時
●此間の貳等運賃は十鉢百レ
鉢内外なるが投宿の際取極
●翌朝汽船又はガゼリンラン
ば當日「レヂストロ」に到着
●此間運賃參鉢なり

植民地
醫、農業技師、測量技
術者置し植民の保護誘掖
通八達交通自在なり
新來植民は耕作時期
の勞働に從事すこ
のしき者にても自作
のり
者の爲め「サントス」より
ロ)に到る道案内
月曜日水曜日(午前九時二
時七時)にして其「ジユキア」
イスなり
に小旅店二軒あり。宿料參
め置く方宜し。
シャにて「ジユキア」を立て
すべし

沖繩縣人諸君（七）

翁長助成
私は絶えず諸君の注意を促して沖繩縣移民の來伯を益々盛んならしめ様に努力して來たが、斯う云ふ事は決して一人や二人の力で出来るものではない、必ずしも縣人全體の一致團結を要する、然るに此頃の新移民諸君の有様はどうであるか、理由にならない事を理由として騒動、ストライキを起す、僅か一ヶ月そこそくしか耕地に居ないで見込みがなきようだつたから逃げて來たと云ふ、こんな事ではいかに舊移民が一致しても到底縣人の發展云ふものは望まれない、新移民と云つても皆惡い人許多ではない、縣人全體から云へば實に僅かな數であるが、他縣人に比べて誠に恥かしい程此不良移民が沖繩縣人には多い、他縣人が辛抱する處に冲繩の者が辛抱出来ない譯はない、私は思ふ。

尤も多少事情を異にした點もある、それは旅費の件である、他縣人は海

踏み止まるだけの覺悟がなくてはならぬ、それが今では丸で反対ではないか。私は斯んな事を考へた、沖縄移民を 30 gramm(三回の分量)を飲むと例へれば茅葺小屋の様なものである。數い、但し以上は大人の薬量年齢マッチ一本で火事を起すのは譯はない。應じ酌を要す。

●問 私事永らく兩足の指又に水を捕へて嚴重に處分する事は好いにく種々様々の音楽を塗抹致し候へば、是は違ひないが、鼠の様にコソ〳〵とも今日迄何の効果も無く候間何卒お夜半出來る奴を一々見張番をつけて對する良薬有之候はゞ御教示被て保護しなければならない程此茅葺一度願上候(痛痒生)ある茅葺を建てる事を禁じるのが火事延焼類焼の虞れがない様に今後斯か延焼類焼の虞れがない様に今後斯か小屋は貴重なものではない、然らば○答 これは全くうるさいものであります。第一に局部を乾燥の状態に置く事、趾をなる可く離隔して常に密着せしめざる事、其目的に向つて趾間に脂綿を捲んで置き、アルコールで時々清拭する、以上の注意を行はず。これは決してオドカシではない、此と同時に Subrimadol 30 centigramma と同時に Agua distillata 30 gramm 此水薬を總領事館では茅葺小屋禁止の命令を出さうとして居る。工夫をするのが肝心である、決してを一日一回塗附すると必ず治る(今度はコロツキ等の言に迷はされてはならぬ、此度禁止になつたら沖縄縣は破滅ですから小兒の居る家庭などでは産する、醒めよ沖縄男兒、起てよ宇特に嚴重なる注意を要す。

こ藤氏の名を知つて居る人は多くある
てまい、虚名欲しさにニコントス持て居る様に吹
まれば拾コントスも持て居る様に吹
宜き廻る人の多い此伯國で、默々として
にて計劃し、黙々として實行し、足掛
け八年の承い年月を一つ耕地に定着
虫をして敢て虛名を求めず實力を養成し
しつゝある我が八田氏を知つて居る人
は少なからう。
右斯様な人を新聞紙上に書き立てる事
トは本人の意志でないのを知らないで
はないが、契約耕地と云へば必ず儲
かるぬ處、成功的見込みのないものと
思ひ違ひして居る新移民の多い今日
之が實例を示す事は彼等の現在及び
将来の爲め左の價格表記は本
樂社に於ても處置に困り居り候間諭心
塗當りの方は至急住所氏名、及び書留
番號御通知下され度候也

た、時の監督にして今はクラブニー
ヨス驛ダマフローレス耕地の名支配
人白井介仁氏の慰撫も訓戒も彼等の
耳に這入らなかつた、白井氏も施す
乞ひ同盟農業鎮撫に勉めたけれども
更に効果はなかつた『何を云つても
支拂ひがありませんから子年來年の
百ミルより今の中ミルが欲しいのだ』
と日々に言ひ騒いた。

豫期した如く Heitor Legré 駅はノロエヌテ線に於ける同胞發展中心となり、あるは私共の喜びする所であります。我ががちに押し寄せて来る殖民者の爲に今日のノロエヌテ沿線にござ私共の希望する條件に叶ふ土地を得ることが出来ませんのに、獨り吾がエートル、レグルー駅は極めて最近迄日本人が居住して居たのは恰かも私共日東男子の爲めに神様が供へてくれた様なものであります。今回賣り出す土地は「サンバウロ土地材木殖民會社」の所有地で當民地と隣接し地質は所謂、パウダリヨ地帶で、其區域なるは如何なる穀類の栽培にも適すことを保證致します。衛生の上から云ふても既五家族の同胞殖民者があるが今日迄一人病者無きに徵して明白であります、土地の拂條件は他に比を見ざる程寛大にして殖民者の便宜を計つてゐます。希望者は百聞一見にしそこ申す通り此絶好の機會を逸することなく、當殖民地の實情調査の上御希望の土地を撰定せられんことを望みます。御照會に總て記宛に願ひます。

イタコロミー殖民事務所

Escriptorio da Fazenda Itacolomy
Estação Heitor Legré
Linha Noroeste

土地賣却

土地賣却
Heitor Lacerda 駅はノロエステ線に於ける同胞發展會所である。あるいは私共の喜びとする所であります。併し寄せて來る殖民者の爲に今日のノロエステ沿線に希望する條件に叶ふ土地を得ることが出来ませんのに、アントル、レグルー駅は極く最近迄土人が居住して居たが、此を阻害せられ、天與の富源を有りの儘に残して置かれてゐる。私も私日東男子の爲めに神様が供へてくれた様なものと以此します。衛生の上から云ふても既に同胞殖民者があるが、今日迄一人に徴して明白あります。土地の此絶好の機會を逸することなく、當殖民地の實情調査は他に比を見ざる程寛大にして殖民會に計つてゐます。希望者は百聞一見にて此土地を撰定せられんことを望みます。御照會は總ての土地を撰定せられんことを望みます。

晴の御對面

日本近信

東宮良子女王兩殿下

◇四月下旬御成年式後宮中にて

◇十一月の吉辰に東宮妃冊立儀

各暖御避寒の爲め沼津御用邸西附屋陛下は茲に内陣の御座に進御親しく

班に入らせ給へる皇太子殿下には駿河源頭雲引く元旦の午前五時半

河源頭雲引く元旦の午前五時半

申すに早くと御起床あり御手水御盥嗽ありて後畏も兩陛下の在します皇城の方を御遙拜良久きに亘せられ夫れよ

晴れの御膳に著かせ給ひて濱尾殿に御遊ばさるべく右御次第

大夫入江侍従長小川武官長以下供奉員その他の拜賀を享けさせ給ひたる

下流を以て春秋茲に満十八歳に達し

給へるより皇室典範の定めに則り宮中

内定ありたる久連宮良子女王殿下

と兩陛下の御前にて

晴れて御顔御交説遊ばさるべ

斯くて秋期なる十一月の交御吉辰を選んで御婚儀上願御勅許の上官日本メソヂスト教會の名譽監督エム

報號外を以て東宮妃冊立勅許の御告シーハリス博士は七十四歳の高齢で

示るべきやの趣きなるが御成年式あるが一日横濱饗纏のエムブレス、

の御儀は申すも畏きとながら御當オブ、ジャパン號の客となつて只一

日宮中賢所大前の儀は定めの刻文人巴里に赴かることになつた老來

武百官有爵者優遇者外國交際官等朝

集所に參集幕床する頃ひ皇太子殿下

御内定ありたる久連宮良子女王殿下

と兩陛下の御前にて

晴れて御顔御交説遊ばさるべく右御次第

大夫入江侍従長小川武官長以下供奉員その他の拜賀を享けさせ給ひたる

下流を以て春秋茲に満十八歳に達し

給へるより皇室典範の定めに則り宮中

内定ありたる久連宮良子女王殿下

と兩陛下の御前にて

晴れて御顔御交説遊ばさるべく右御次第

大夫入江侍従長小川武官長以下供奉員その他の拜賀を享けさせ給ひたる

下流を以て春秋茲に満十八歳に達し

給へるより皇室典範の定めに則り宮中

内定ありたる久連

